・申請対象、申請分野ごとに設定されている研究科・専攻を確認の上、申請を行ってください。

募集対象（2022年4月時点）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 年次 | 年齢(2022年4月1日時点) |
| 博士後期課程 | 2022年4月,10月入学進学予定者 | 30歳未満(但し臨床研修を課された医学課程の在籍者は33歳未満) |
| 医学博士課程 | 2022年4月,10月に2年次になる者 |

|  |  |
| --- | --- |
| 申請分野【第１志望】＊対象研究科・専攻は別紙にて確認 | 第１志望の申請分野にチェックを入れてください[ ] アジア未来創造　[ ] 情報・AI　 [ ] 量子科学　[ ] マテリアル　　 |
| 申請分野【第２志望】＊対象研究科・専攻は別紙にて確認＊任意 | 第２志望の申請分野にチェックを入れてください[ ] アジア未来創造　[ ] 情報・AI　 [ ] 量子科学　[ ] マテリアル　　 |
| 申請番号＊10桁(英字1桁＋数字9桁) |  |
| 入学予定年次（医学博士課程は入学年次） | 該当する入学予定年次（医学博士課程は入学年次）にチェックを入れてください博士後期課程　[ ] 2022年4月入学・進学者　[ ] 2022年10月入学・進学者医学博士課程　[ ] 2021年4月入学・進学者　[ ] 2021年10月入学・進学者 |
| 氏名 |  | 年齢 |  |
| 生年月日 |  |
| 所属（他大学申請者は、大学名から記載） | 大学　　　　　研究科　　　　　専攻 |
| 学年（2021年10月1日現在） | [ ] 博士前期課程　　年　　[ ] 医学博士課程　年[ ] 修士課程　　　　年　　[ ] その他（　　　　　　　　　　　） |
| 学生番号(本学在籍学生のみ) | \*申請時に把握している学生番号を記入してください |
| 在籍区分（2022年4月時点） | [ ] 在学　[ ] 休学　[ ] 留学（　　　　年　　　月）＜＝休学または留学を選択した場合は、復学予定年月を記入してください。 |
| 連絡先 | 携帯番号 |  |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  |
| 卓越大学院プログラム博士リーディングプログラム,その他プログラム等の在籍状況（該当者のみ） | 現在、または過去に在籍した卓越大学院、リーディング、その他プログラムがある学生は該当箇所にチェックを入れてください。〇卓越プログラム　[ ] GTR　[ ] DII　[ ] CIBoG　[ ] TMI〇リーディングプログラム　[ ] ﾌﾛﾝﾃｨｱ宇宙　[ ] PhD登龍門　[ ] 実世界　[ ] ｳｪﾙﾋﾞｰｲﾝｸﾞ〇その他プログラム（　　　　　　　　　　　　　　　　　）プログラム名を記載してください。 |
| 入学予定研究科専攻名(医学博士課程は記入不要) | 研究科　　　　　　　　　　　専攻 |

※申請事前登録と同じ内容を記入してください。

審査員は異分野の先生方もおられます。専門外の人でもわかるような内容、表現で記載ください。

|  |
| --- |
| 【研究題名】 |
| 【研究計画】（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。なお、本項目は**１頁**に収めてください。様式の変更・追加は不可(以下同様)）(1) 研究の位置づけ博士後期課程（医学博士課程）３年間で取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。 |

|  |
| --- |
| 【研究計画】（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。なお、本項目は**２頁**に収めてください。様式の変更・追加は不可(以下同様)）(2) 研究目的・内容等　① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。　③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。　④ 所属研究室の研究活動との関連において、提案者が担当する部分を明らかにしてください。　⑤ 研究計画の期間中に異なる研究機関（外国の研究機関等を含む）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。 |

|  |
| --- |
| 【研究遂行力等の自己分析】※各事項の字数制限はありませんが、全体で**１頁**に収めてください。本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における「自身の強み」について、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。特に、名古屋大学融合フロンティアフェローシップでは、融合フロンティアを拓き未来の知の継続的創出や社会実装を担い、グローバルに活躍する博士人材の育成を目指しています。その目的に関して、すでにこれまでの活動経験から得た能力等があればこの欄に記載ください。　 |

|  |
| --- |
| 【目指す研究者像等】※各事項の字数制限はありませんが、全体で**１頁**に収めてください。名古屋大学融合フロンティアフェローシップでは、融合フロンティアを拓き未来の知の継続的創出や社会実装を担い、グローバルに活躍する博士人材の育成を目指しています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」と「博士号取得後のキャリアパス」(2) 「キャリアパス実現のため必要と考えている要素」と「実施予定をしている活動や経験」を記入してください。募集要項の別表の「目的・育成する研究者像」「指定する講義、研修、セミナー等」も参考に記載ください。　 |